

授業計画表(教育課程総論 1年)

科目名・単位数		担当教員名	使用テキスト：出版社名・テキスト名
教育課程総論(講義)・2単位		高橋 順	「就学前教育の計画を学ぶ」 ななみ書房
教育の基礎的理解に関する科目		施行規則に定める科目区分または事項。 教育課程・保育課程の意義および編成の方法(カリキュラム・マネジメント)。	
授業の到達目標及びテーマ		授業の到達目標及びテーマ：幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園における「教育課程」・「全体的な計画」が有する役割や機能、意義について理解を深め、「教育課程」・「全体的な計画」の編成方法を修得する。また、各幼稚園、保育所等の実情に合わせたカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解し、実践できる能力を培う。	
授業の概要		講義形式で「教育課程」「保育課程」を学び、「指導的な計画」編成について学ぶ。毎講義ごとの確認プリントを通して学生の理解の定着を図り、教育・保育現場での実践的イメージを学生に持たせるための教材とアクティブラーニングを取り入れ、積極的に自ら学ぶ姿勢と実践力を涵養する。	
回	項目	内 容	
1	教育課程とは	なぜ教育課程・保育課程は必要なのか教育課程・保育課程および指導計画の意義について考える。乳幼児期における教育課程・全体的計画(保育課程)とはどのようなものか。教育課程の歴史的な変化を学ぶ。	
2	様々な教育課程	教育課程の歴史的変化とその背景を探り、教育課程の果たしてきた役割について考察する。幼稚園教育課程・保育所保育課程の変遷(戦前～戦後)と現在 <AL> 幼保連携型認定こども園教育・保育要領について	
3	幼稚園の教育課程とは	法律からみた幼稚園教育の目的・目標と新幼稚園教育要領と新たな幼稚園教育課程編成の実例から学ぶ。 教育課程の見直しと全職員の共通理解及び保護者への公約はなぜ必要なのか。 <AL>	
4	保育所の保育課程とは	全体的な計画(保育課程)の作成 保育課程を理解する法的要件(様々な法律等との関係) 保育実践の評価と記録 自己評価と地域への情報開示	
5	幼稚園・保育所の生活と幼児理解について	乳幼児期の生活と理解 環境と遊びを通しての教育、学びの連続性(幼児期の遊びと小学校の遊び) 主体的・対話的な深い学びとは	
6	教育課程・保育課程、指導計画を考える上で必要な共通点	幼稚園教育課程における5つの領域について 小学校との連携のあり方と方法 保護者・地域との連携、子育て支援について	
7	保育課程、指導計画を考える上で必要なこと	全体的な計画(保育課程)、指導計画の要点 乳児保育、年齢児にかかわる基本事項と新たな視点・ねらいと内容 全体的計画(保育課程)指導計画の具体化をめざして なぜ子どもの主体性を尊重する保育はなぜ必要なのか。 <AL>	
8	様々な教育課程編成から長期指導計画へ	教育目標を設定する観点とは 長期の指導計画の作成(教育課程・保育課程と指導計画の関係) 指導計画の指導とはどのようにあるべきか	
9	短期の指導計画の作成とその意義	短期の指導計画(毎日の保育をデザインする) 週日案と日案の実例 指導計画の作成の手順と実践・評価 記録のとり方と振り返り(評価)の新しい動向	
10	保育課程の編成と指導計画の作成	全体的な計画(保育課程)の編成と指導計画の作成 年間保育計画例 月毎の指導計画 日課例	
11	保育課程の編成と指導計画の作成Ⅱ	全体的な計画(保育課程)の編成と指導計画の作成Ⅱ 年間保育計画例 月毎の指導計画 日課例	
12	指導計画の実践	指導計画をどのように実践すべきか。(保育者の動きや言葉かけ) <AL>	
13	指導計画のPDCAサイクル	教育課程・全体的な計画(保育課程)の見直しのための観点 指導計画のPDCAサイクルと保育実践の充実 記録の意味とその活用の意義 <AL>	
14	小学校との連携と幼児指導要録	幼稚園や保育所と小学校との連携の必要性について考察する。 <AL> 保育所児童保育所要録、幼稚園幼児指導要録の作成。	
15	まとめ	保育者として求められるもの <AL>	
16	期末試験		
○ 成績評価方法: 授業の取り組みと試験を総合して評価する。			